

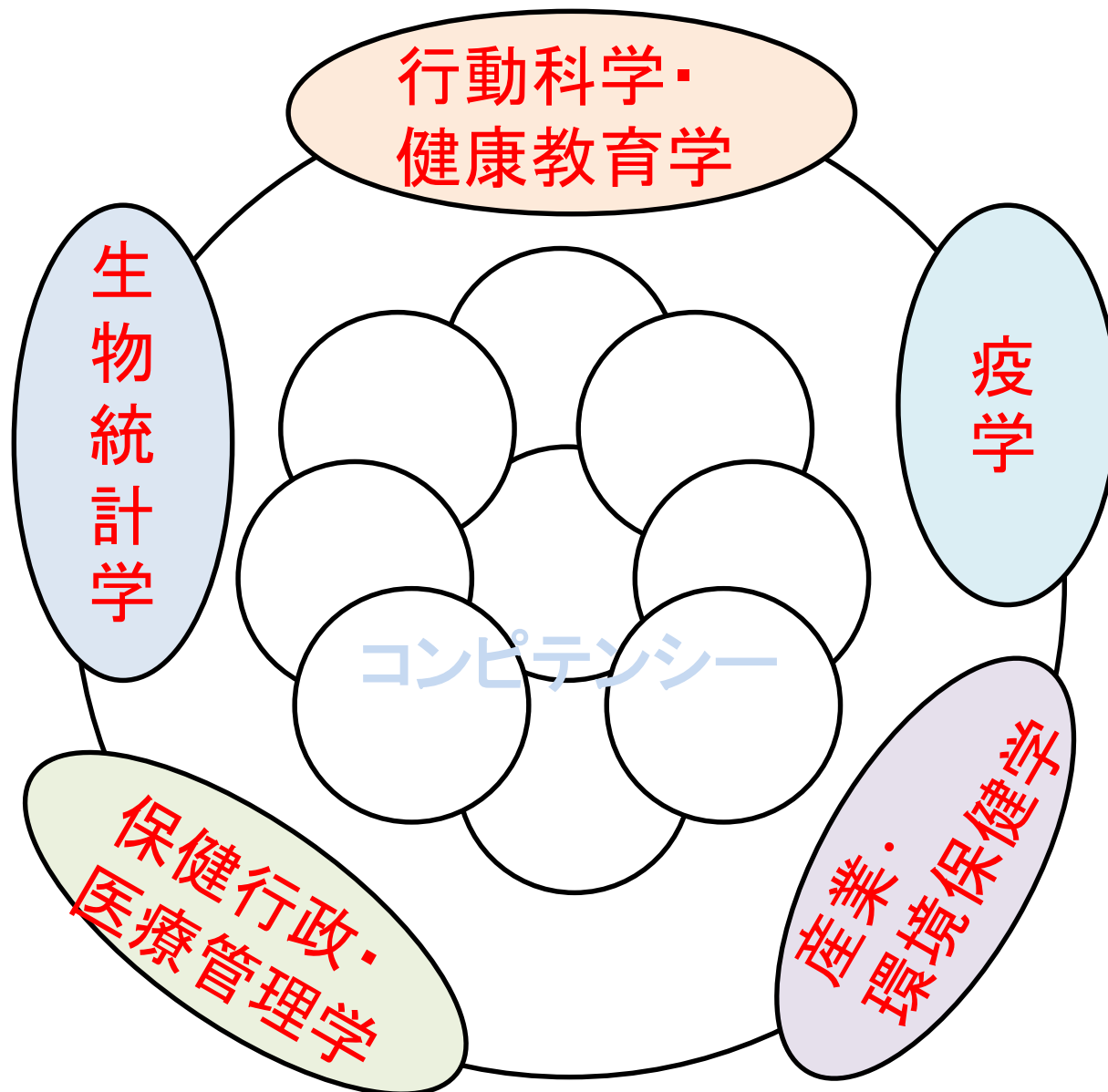
カリキュラムについて

- ポリシー
- 卒業までの全体像
- 授業形式
- アカデミックアドバイザーと課題研究指導教員
- ハーバードの特別講義
- その他

カリキュラムポリシー

- 専門職課程 (MPH), 博士後期課程 (DrPH), とともに, **コンピテンシー**基盤型教育
- **コンピテンシー**とは, 公衆衛生課題に対する具体的な成果を達成する能力
- **基本5分野**の講義と**課題研究 (特殊研究)**を通して, 8領域の**コンピテンシー**の習得

国際標準の公衆衛生基本5分野



MPH 5分野の代表的な科目名

5科目	科目例1	科目例2
疫学	疫学概論(必修4単位)	臨床疫学概論(4)
生物統計学	基礎生物統計学(必修4)	データ解析演習(2)
行動科学・健康科学	健康行動科学概論(必修2)	医療コミュニケーション学／健康行動科学演習
保健行政・医療管理学	保健医療政策概論(選択必修2) ／医療管理学・安全管理学概論 (選択必修2)	地域保健学(2)
産業環境保健学	産業環境保健学概論(必修1)	産業保健学(2)
共通	医学基礎・臨床医学入門(必修2) 公衆衛生倫理学(必修1)	課題研究(必修6)

M P H 授業時間割

				前期		後期		
				前半8週(a学期)	後半8週(b学期)	前半8週(c学期)	後半8週(d学期)	
曜日	時限							
月	1	9:00	医学基礎・臨床医学入門 (非医療系学生のみ必修、医療系学生は免除)					
		10:30						
	2	10:45						
		12:15						
	3	13:15	医療管理学・安全管理学概論 (選択必修)	医療経済学	医療経営学演習			
		14:45						
	4	15:00						
		16:30						
火	1	9:00		地域医療学	応用生物統計学			
		10:30						
	2	10:45			データ解析演習			
		12:15						
	3	13:15	保健医療政策概論 (選択必修)	国際保健概論	臨床試験概論			
		14:45						
	4	15:00				臨床試験演習		
		16:30						
水	1	9:00	基礎生物統計学(必修:演習込み)					
		10:30						
	2	10:45			医療コミュニケーション学/健康行動学演習			
		12:15						
	3	13:15	健康行動科学概論(必修)		医療情報学概論	医療情報システム演習		
		14:45						
	4	15:00	公衆衛生倫理学(必修)	健康教育学				
		16:30						
木	1	9:00			環境中毒学(選択)			
		10:30						
	2	10:45			産業保健学(選択)			
		12:15						
		3	13:15	疫学概論(必修:演習込み)			臨床疫学概論(演習込み)	
		14:45						
4		15:00						
		16:30						
	5	16:45	環境産業保健学概論(必修)		環境保健学(選択)			
		18:15						

MPHの必要な単位、課題研究

- **科目**授業：月曜～木曜日（金曜日は課題研究日）
- 卒業単位数（5領域で）：**32単位**
- **1年を4学期**に分け，1学期8回の講義で1単位
- a学期：4/7～6/10，b学期：6/4～7/31，c学期：9/16～12/1，d学期：11/12～2/26
- **必修科目は前期のa学期およびb学期に集中し，16単位**（医学基礎・臨床医学入門を含む）
- **課題研究（必修6単位）**：前期に計画し，後期に集中実施。

卒業までの全体像：MPH1年コース

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
科目授業開始→			課題研究の企画発表			課題研究の中間報告		課題研究の最終報告		課題研究報告書の提出	卒業

卒業までの全体像：MPH2年コース



- ・1年目は科目履修中心
- ・2年目が、1年コースの1年目の学生と同様な流れに

DrPHの必要な単位、特殊研究

- 共通科目として3科目(3単位)と、「疫学・統計学」、「産業保健・環境保健学」、「保健政策・医療管理学」の3分野から1分野で14, その他を加え卒業単位数:19
- 公衆衛生学に関する専門職学位課程または修士課程出身者は, 公衆衛生学特論I~V(2あるいは1)が単位認定される。
- 特殊研究が12。

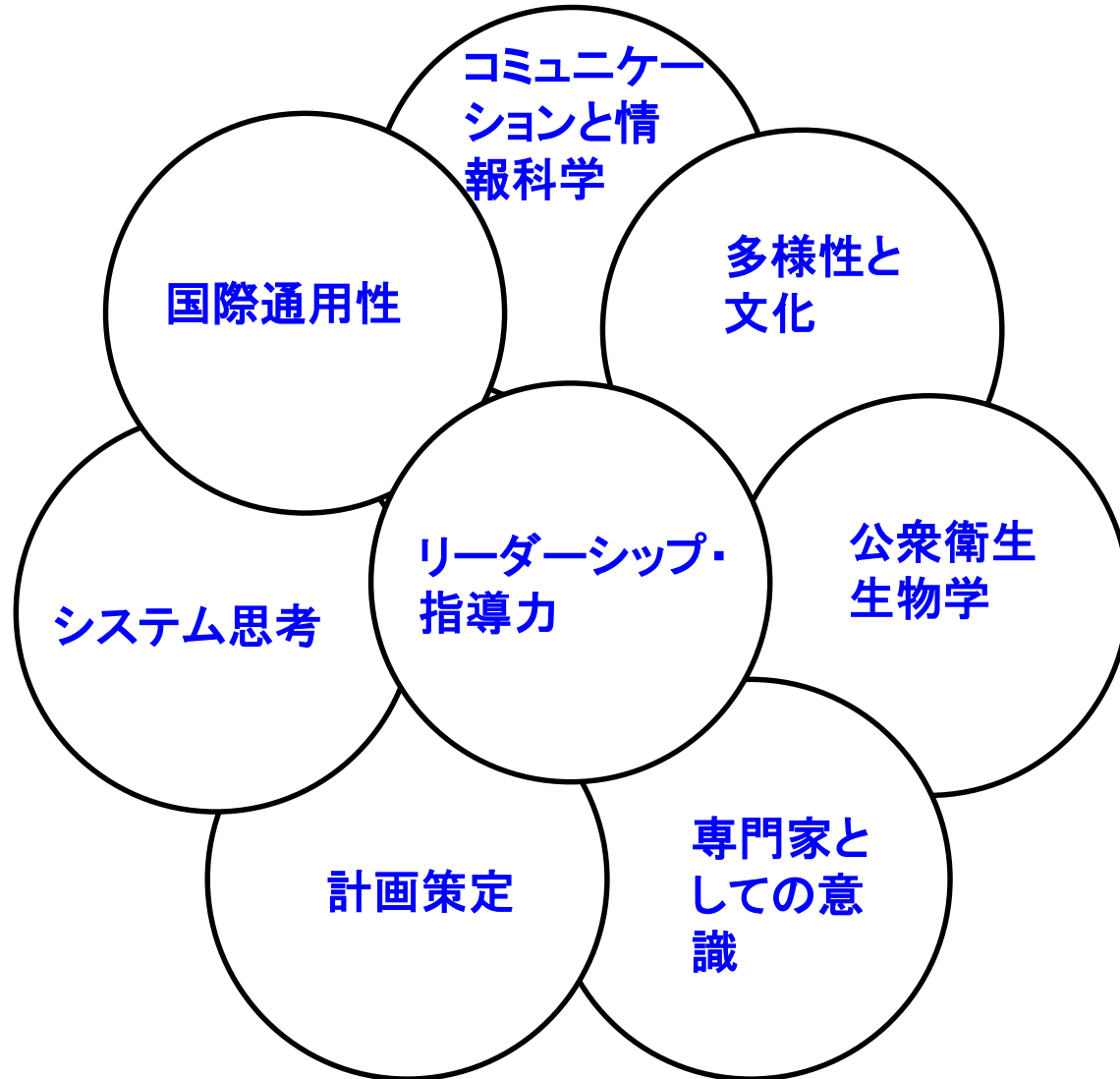
卒業までの全体像：DrPHの標準

1年目	2年目	3年目
19単位の科目履修 特殊研究の企画審査	特殊研究の中間審査	博士論文審査

授業:グループディスカッション多用

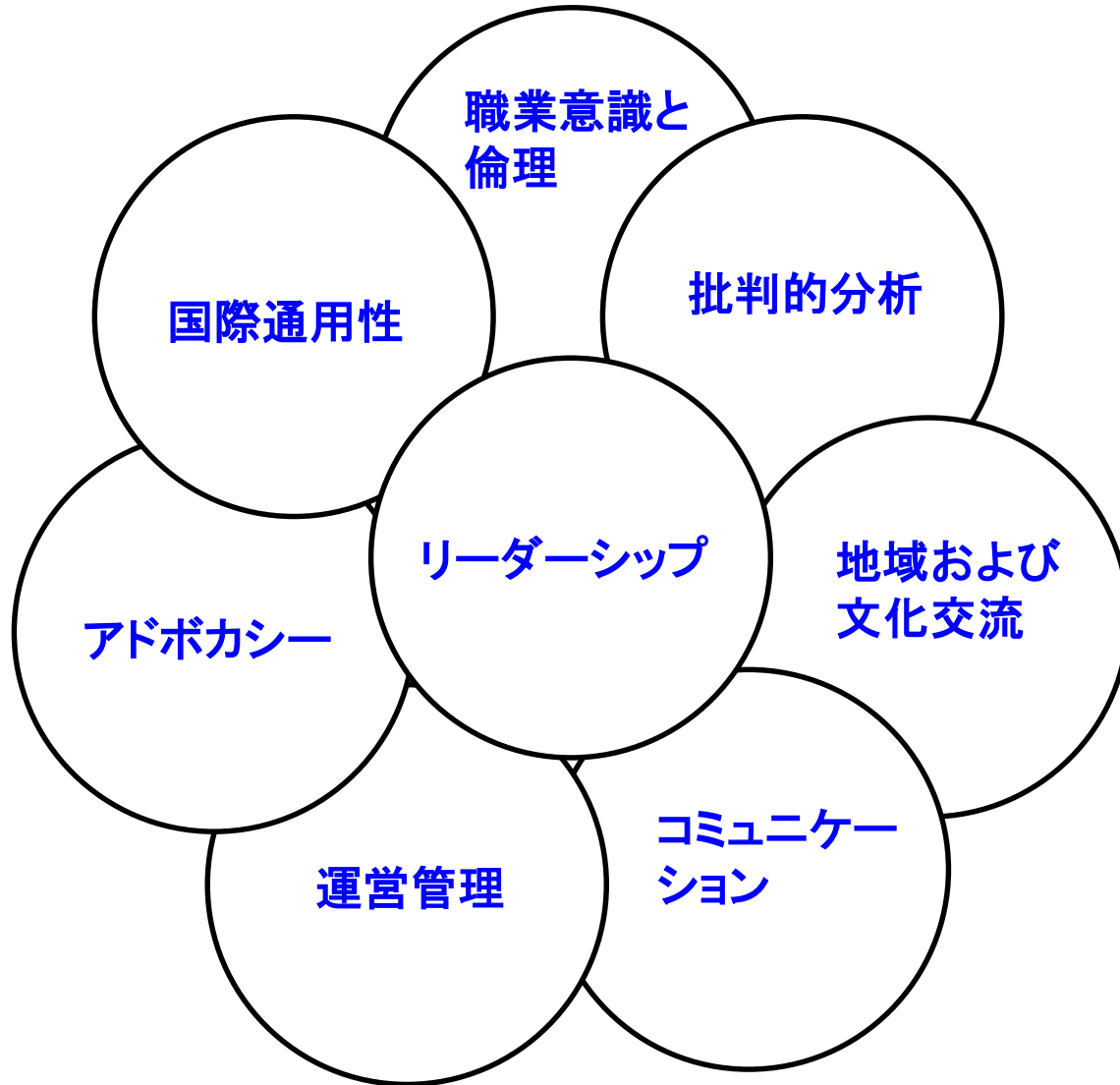
- 事例(ケース)について,
- 4, 5人のグループに分かれ,
- 意見を出し合い,
- グループの意見をまとめ,
- 発表し,
- 相互討論をする。

MPHの8コンピテンシー



現実の公衆衛生課題に対して科学的判断に基づいて
解決できる専門職

DrPHの8コンピテンシー



リーダーシップ、マネージメント能力、コミュニケーション能力等を併せ持つ**上級管理職・上級指導者**



2013年度のMPH課題研究の例

- ラオスの地域における女性のQOLと能動的情報交換の関連性
- ある政令指定都市における重症以上救急搬送患者の現場滞在時間が30分以上になる因子の検討
- ベトナムにおける鳥インフルエンザ(H5N1)ヒト感染—Disease Clusteringからみた診療対策の検討—
- 成田空港検疫所における渡航者の有症率に影響をおよぼす要因の検討

アカデミックアドバイザー と 研究指導教員

- 2名の教官がフォローし、大学院教員全員で助言
- アカデミックアドバイザーは、学生生活一般について相談
- 研究指導員は課題研究の助言

5科目のハーバード特別講義

帝京-ハーバードプログラム主催

帝京大学大学院公衆衛生学研究科

第4回 ハーバード特別講義

Harvard Special Session 2015

2015年1月 開催

帝京大学は、1993年のハーバード大学との学術提携以来、学生・教員の交流、国際共同シンポジウム等を通じて、わが国の公衆衛生学の発展に寄与して参りました。ハーバード特別講義はその活動の一環であり、2012年1月の開講時には、ハーバード大学より各分野の世界的権威である教授陣5名をお招きし、その後は英国ケンブリッジ大学からPeter Baxter先生、ダラム大学からDavid Hunter教授、疫学の世界的権威であるKenneth Rothman先生もお招きしました。毎年、国内外より延べ100名近い受講生が参加しており、貴重な国際交流の場として注目を集めております。

そして、2015年1月から開催される**第4回ハーバード特別講義**では、英国オックスフォード大学よりMartin Burton先生(英国コ克蘭センター理事)とAndrew Farmery先生をお迎えする予定です。疫学・生物統計のみならず、社会疫学・行動科学、保健行政、医療経営管理、国際保健、環境保健・産業保健といった各分野の海外最新事情や最先端知識に触れる絶好の機会になると考えております。日ごろ様々な立場で公衆衛生上の諸課題に取り組まれている方々の多くのご参加を心よりお待ちしております。

10月出願受付開始

(詳しくは ⇒ <http://harvardspecialsession.web.fc2.com/index.html>)

開講科目	講師	開催日	講義室
Health Policy Management and Clinical Epidemiology*	Martin Burton Andrew Farmery	1月22日-25日	板橋キャンパス大学本館
Biostatistics	Marcello Pagano	1月19日-16日	
Behavioral Science /Social Epidemiology	Ichiro Kawachi	1月13日-16日	
Environmental / Occupational Health	David Christiani	1月8日-11日	

ティーチングアシスタントによる補講により、**英語に多少課題があっても努力すれば有意義な受講となる。**

まとめ

- コンピテンシー基盤型教育で、コンピテンシーとは、公衆衛生課題に対する具体的な成果を達成する能力をいう。
- **基本5分野**の科目履修と**課題研究(特殊研究)**を通して、8領域のコンピテンシーの習得する。
- 必修科目を、前期前半、水・木に多くさせているので、現職との兼ね合いの余地がある。